

# 国語科学習指導案

日 時 平成27年11月26日(木) 5校時  
場 所 小平町立小平小学校 4年教室  
児童生徒 第4学年1組(14名)  
指 導 者 伊原 賢郎

- 1 単元(題材)名 テーマを決めて、本をしょうかいしよう  
ごんぎつね、「読書発表会」をしよう

## 2 単元について

子どもたちは、3年生までに様々な物語文を教材として、登場人物の心情や場面について考えたり、自分たちの考えを交流したりする活動を行っている。また、4年生では、『白いぼうし』や『一つの花』で情景描写から心情を読み取る活動を行っている。

本単元では、【場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことや文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと】の指導事項を『ごんぎつね』や並行読書の活動を通して達成させる。

この作品は、すぐれた情景描写や人物の心情の変化などが的確に表現されており、日本児童文学の名作として定評がある。4年生という発達段階にもふさわしく、叙述をもとに登場人物の性格や気持ちの変化、情景などの想像したことを他者と交流することによって、互いの感じ方の違いに気付かせる学習を展開するには格好の教材である。また、学習に新見南吉作品の並行読書を取り入れることでごんぎつねの作品の読みの深化を促し、子どもの読解力を向上・定着させるのに有効と考える。

## 3 研究の視点

### (1) 主体的な学びを生む学習活動

#### ① 学ぶ内容と解決の方法を見通す活動の設定と工夫(やってみたい)(考えたい)

『新見南吉作品を、ポップでしょうかいしよう』を単元を貫く言語活動として設定した。紹介ポップの利点としては、ポップのタイトルや紹介文を考えさせることで、登場人物の相互関係や心情、情景などを通して表現されていることを想像を広げながら読み深めることができることにある。また、図書コーナーや廊下に掲示するなど、相手意識・目的意識をはっきりさせる。そうすることで、友だちに自分のポップを紹介しようと意欲を高めるとともに単元に見通しをもつことで『やってみたい』『考えたい』という気持ちにつなげていく。また、最初に単元全体の流れを指導し、掲示として残しておくことで1単位時間の活動の見通しをもたせることにつなげることができると思う。

#### ② 学びの過程や結果を振り返り、次の学びへとつなげる活動の設定と指導のあり方(学びたい)

学習の最後に振り返りを行うことで、子ども自身が自らの理解を深めるとともに友だちの感じた作品への思いや登場人物の心情、情景描写を読んで感じたことを共感することができる。そのことで、自分の感じたことをよりよく表現したり、次時の学習への意欲『学びたい』という気持ちにつなげたりしていく。また、教師が振り返りを確認することで一人一人の学習状況やつまづいている子の把握、支援への手がかりとしていく。

### (2) 思考力・表現力を育成する活動の工夫

#### ① 学びをつなぎ、筋道立てて考え、根拠や理由を示して伝える活動の工夫(話したい)(聞きたい)

登場人物の心情や様子の変化が分かりやすい場面を児童につかませながら学習を進めることで、文章の言葉を根拠としてポップに書くことができるようにする。自分の考えの根拠となる文や理由を押さえさせることで自信につなげ『話したい』という気持ちや、他の児童との違いや同様の考えをしているかどうかを確認することで『聞きたい』という気持ちにつなげていく。

②解決のきっかけをつかみ、考えを深めるための交流の工夫（聞きたい）（やってみたい）

登場人物の心情や様子について、文章中の言葉を根拠として見付けるだけで終わるのではなく、その文章から子どもが感じたことを自身の言葉で表現させる。さらに、感じたことをグループで話し合う活動を学習に位置付ける。相手に分かりやすく自分の思いを伝えること、視点をもたせて交流を進めることでグループでの話し合いに意味合いをもたせ、話し合い活動を活発にしていく。そのことで、自分では書けなかった子はその言葉を参考に書くことができたり、思い付いた子も表現の良さやお互いの考えたことを話し合わせたりすることで表現力を高め、もっと『聞きたい』『やってみたい』という気持ちや聞く意識の高まりにもつなげていく。

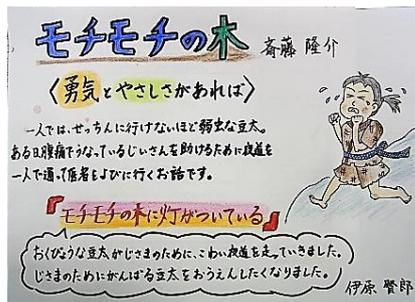
4 単元の目標と評価規準

●は、関連する領域等の言語活動

単元の目標		
◎新見南吉の他の作品を選び、ポップを作って紹介することができる。		
●新見南吉の作品を紹介したブックリストから、自分のお気に入りの作品をすすんで選び、ポップを作って紹介する。【国語への関心・意欲・態度】		
●新見南吉作品の中から、自分のお気に入りの作品を紹介するために、他の作品を選んで読む。 【読むこと】		
●新見南吉の作品を読み、ポップを作って紹介するために、物語のあらすじをまとめたり心に残った場面や登場人物の気持ちの変化などについて叙述を引用したりする。【読むこと】		
●言葉には、考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気付く。【言葉についての知識・理解・技能】		
国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
新見南吉の他の作品を読み、お気に入りの作品を選び、ポップを作って紹介しようとしている。	場面の移り変わりに注意し、登場人物の性格や気持ちの変化を想像して読み、ポップで紹介している。【エ】	新見南吉作品の中から自分のお気に入りの作品を紹介するために、他の作品を選んで読んでいる。【カ】
		言葉には、考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気付いている。【イ(ア)】

5 単元の指導計画（14時間）

時数	◎主な学習活動 ◎教師の働きかけ ・児童の活動	評価規準と視点
つかむ 2時間	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全文の通読</li> <li>○言葉の意味調べ、段落分け</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     新見南吉作品を読んで、お気に入りの作品をポップで紹介しよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎担任の作った他の作品のポップを紹介しながら、ポップについて考えさせる。</li> <li>○紹介ポップに必要な内容を知る。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名や作者名がある。</li> <li>・印象的な場面の絵がある。</li> <li>・あらすじが書かれている。</li> <li>・小見出し（副題）がある。</li> <li>・大事な言葉が書かれている。</li> <li>・自分の気持ちが書いてある。</li> </ul> </li> <li>○単元の学習計画を立てる。</li> <li>○学習の振り返りをする。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">                     視点(1) (やってみたい) (考えてみたい)                 </div> <p>【関・意・態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新見南吉作品を読んで、ポップを作って紹介しようという思いを膨らませている。(発言、ノート)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">                     視点(1) (学びたい)                 </div>



職	○主な学習活動 ◎教師の働きかけ ・児童の活動	評価規準と視点
	<p>②</p> <p>たくさんのお新見南吉作品からお気に入りの物語を見付けよう。</p> <p>◎新見南吉作品の紹介 ◎新見南吉作品の中から好きな物語を読む。</p>	<p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの作品を見付けるために、本を選んで読んでいます。</li> </ul> <p>視点（１） （やってみたい） （考えてみたい）</p>
<p>追求する 8時間</p>	<p>③</p> <p>「ごんぎつね」を読んでポップに書くあらすじを考えよう。</p> <p>○登場人物の言動に注意して、あらすじをまとめる。 ・いたずら好きの小ぎつねごんが、自分のしたいたずらを後悔してつぐないをするが、最後は兵十に撃たれてしまうお話です。</p>	<p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の話を中心にあらすじを書いている。（ワークシート）</li> </ul>
<p>④ ・ ⑤</p>	<p>登場人物の気持ちを中心に一番心に残った場面を見付けよう。</p> <p>○あらすじをもとに、場面ごとのごんや兵十の気持ちやその変化について考える。 ○ポップに描きたい登場人物の気持ちの変化を考える。 ◎大きく気持ちが変わった場面に注目させる。 ・ごんがいたずらをして楽しんでいる。 ・ごんがいたずらをしたことを後悔している。 ・ごんは、つぐないをしてよいことをしたと思っている。 ・兵十がごんのしてくれたことに気付いた。</p>	<p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心に残った場面を見付け、その理由を書いている。（ノート）</li> </ul> <p>視点（２） （話したい） （聞きたい）</p>
<p>⑥ 本時</p>	<p>場面をしょうかいする文を考えよう。</p> <p>○紹介する場面を知る。 ・ごんが穴の中で考え込んでいる場面 ・ごんがいわしを届ける場面 ・ごんが撃たれた場面 ○場面を紹介する文章を選んだ理由を交流して、ノートにまとめる。 ・わたしは、ごんが最後にうなずいた場面が心に残りました。きっと、ごんは兵十に気付いてくれたことがうれしいと思います。</p>	<p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面での人物の気持ちや様子が伝わる文章を見付け、表現している。（ワークシート）</li> </ul> <p>視点（２） （話したい）（聞きたい） （やってみたい）</p>
<p>⑦ ⑧</p>	<p>お気に入りの新見南吉作品から、心に残った登場人物の気持ちの変化や心に残った場面を中心に、あらすじと感想をまとめよう。</p> <p>○ごんぎつねのまとめを参考にあらすじと感想をまとめる。 ◎今までの学習を振り返りながら取り組ませる。 ・心に残った場面は、～です。 ・登場人物の気持ちは、～から～に変わっているな。</p>	<p>並行読書</p> <p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心に残った登場人物の気持ちの変化や好きな場面を見付けている。（付箋）</li> <li>あらすじや心に残った登場人物の気持ちの変化や様子について書いている。（ノート）</li> </ul>

時数	○主な学習活動 ◎教師の働きかけ ・児童の活動	評価規準と視点
⑨	<p>ポップで本を紹介するために副題をつけよう。</p> <p>○一番心に残った言葉を見付けて、自分の感動が伝わるような言葉で副題を考える。</p> <p>◎紹介する場面から、セリフや様子が伝わる言葉から見付けさせる。(自分で言葉を考えてもよい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごん、おまえだったのか。」</li> <li>・「ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。」</li> <li>・「命とひきかえに」</li> <li>・「気づかなかったこと」</li> </ul>	<p><b>【読む】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番心に残った言葉を見付け、その理由を書いたり、副題を付けたりしている。(ワークシート)</li> </ul>
⑩	<p>「ごんぎつね」のポップを作ろう。</p> <p>○「ごんぎつね」のポップの原案を作る。</p> <p>◎これまでに書いたあらすじや紹介文をもとにまとめさせる。</p> <p>○ポップの原案を交流し、友だちの感想や意見を参考にしながら、ポップを作る。</p> <p>◎交流の視点を確認して話し合いをさせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①心に残ったことが伝わるか。</li> <li>②ポップを読んで紹介した本が読みたくなるか。</li> </ol>	<p><b>【関・意・態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習活動をもとにポップを作っている。(ポップ)</li> </ul> <p><b>【言語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのポップの良い所や自分のポップとの違いに気付いている。(付箋、発言)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">       視点(2) (話したい) (聞きたい)     </div>
まとめる	<p>⑪ お気に入りの新見南吉の作品のポップを作ろう。</p> <p>⑫</p> <p>⑬</p> <p>○今までまとめたあらすじと感想をもとに、お気に入りの作品のポップを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごんぎつね」で作ったポップと同じように作ればいいのか。</li> </ul>	<p><b>【関・意・態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんぎつねのポップ作りを参考にお気に入りの作品のポップを作っている。(ポップ)</li> </ul>
4時間	<p>⑭</p> <p>新見南吉の作品のポップを紹介し合おう。</p> <p>○新見南吉作品を紹介し合い、友だちの表現を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ作品を選んだ友だちでも、紹介の仕方は違うな。</li> <li>・友だちの紹介を聞いて、もっと読んでみたくなった。</li> </ul>	<p><b>【言語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのポップの良い点と改善点について気付き、アドバイスしている。(付箋、発言)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">       視点(1) (学びたい)     </div>

6 本時の展開 (6 / 14)

段階	主の学習活動 (◎教師の働きかけ ・児童の活動)	【評価規準】と視点 ○支援
導入	<p>○前時の振り返り</p> <p>◎前時までの人物の心情の移り変わりを確認させる。</p> <p>◎物語の中で人物の心情が大きく変わった場面について想起させる。</p>	<p>視点 (1)</p> <p>【紹介ポップを作ろう】</p> <p>今までの学習を振り返って、人物の心情の変化を紹介する必要を確認。</p>
展開	<p>場面をしょうかいする文を考えよう。</p> <p>○学習の進め方について確認する。</p> <p>・グループ毎に場面を紹介する文を探す。</p> <p>・根拠になる文を使って、理由を書く。</p> <p>・一番心に残ったことを紹介する文章を書く。</p> <p>・紹介文を交流する。</p> <p>○紹介する場面を班ごとに分ける。</p> <p>・ごんが穴の中で考え込んでいる場面</p> <p>・ごんがいわしを届ける場面</p> <p>・ごんが撃たれた場面</p> <p>○場面を紹介する文章を見付ける。</p> <p>・あんないたずらをしなげりゃよかった。</p> <p>・「これはしまった。」</p> <p>・ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。</p> <p>○場面を紹介する文章を選んだ理由や人物の気持ち、様子を自分の言葉で考え、ノートに書く。</p> <p>・自分のいたずらのせいで兵十のおかあが死んでしまったことに気付いて後悔しているごんが正直者だと思った。</p> <p>・いたずらしたことを後悔して、一生懸命につぐないをしているごんがすごい。</p> <p>・ごんは、つぐないをしていたのに、兵十に撃たれてしまってかわいそう。</p> <p>◎交流のポイントを伝える。</p> <p>自分の意見が書かれているか。根拠となる文を書いているか。</p> <p>◎グループの発表者の決め方を伝える。</p> <p>交流の文章を読んで、意見や根拠となる文が分かりやすく書いてある。</p> <p>○自分の紹介文をグループで交流する。</p> <p>・グループ毎に交流する。</p> <p>○自分の紹介文の直しをする。</p>	<p>○ポップの掲示物やワークシートから活動内容を推測させる。</p> <p>○根拠が見付けられない児童には、登場人物の気持ちに振り返らせる。</p> <p>【読むこと】</p> <p>・登場人物の気持ちが変わっている場面から、自分の感じたことの根拠となる文章を読み取ることができる。(ワークシート)</p> <p>視点 (2)</p> <p>【紹介文を書く】</p> <p>自分の考えの根拠となる文章を見付けることで自分の紹介文に自信をもたせる。</p> <p>【関・意・態】</p> <p>・根拠となる文章や自分の感じたことなどが書かれているか、意見交流をすることができる。</p>
まとめ	<p>○グループ毎に表現の工夫が見られたり、根拠となる文から感じたことを書いていたりしている紹介文を代表として全体で交流する。</p> <p>○今日の学習の振り返りをする。</p> <p>◎今日の学習したことや参考になったこと、次時へ生かしたいことを振り返るよう確認する。</p>	<p>視点 (1)</p> <p>【学習を振り返る】</p> <p>本時の学習で分かったこと、参考になったことなどを振り返らせる。</p>